

ArtemiS SUITE
Signal Processing

Code 51007

ASP 007 オクターブ解析

ArtemiS SUITEのオクターブ解析では、1/nオクターブ解析の計算に再帰フィルターを利用することで、時間構造を正確かつ詳細に分析することができます。

概要

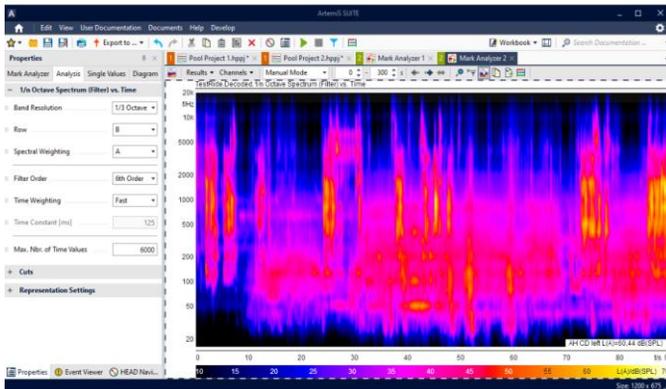
ASP 007

オクターブ解析

Code 51007

オクターブ解析では、再帰フィルタを利用して、測定信号に含まれる周波数のレベル変動を解析します。FFTによる周波数解析のように、信号を等間隔の時間ブロックに分解する必要はありません。結果として、時間特性の解析を行う際の測定信号の時間分解能は影響を受けません。

1/nオクターブ解析の結果として、平均スペクトル、またはスペクトラムの時間特性またはRPM特性を分析できます。人間の知覚を模倣するには、1/3オクターブフィルタが特に適しています。これは、500 Hzを超える帯域が臨界帯域にほぼ対応する為です。



フィーチャー

オクターブ解析には、いくつかの1/nオクターブ解析が含まれています。

- 1/nオクターブスペクトル(フィルター)
- 入力信号の1 / nオクターブスペクトルの計算-各周波数帯域の二乗平均平方根が計算されます
- 1/nオクターブスペクトル(フィルター)(ピークホールド)
- 入力信号の1 / nオクターブスペクトル、1 / nオクターブスペクトル(フィルター) vs 時間
- 入力信号の1/nオクターブスペクトル vs 時間
- 1/nオクターブスペクトル(フィルター) vs RPM
- 入力信号の1/nオクターブスペクトル vs 参照量
- IEC 61260シリーズ、ANSI S 1.11に準拠した6次フィルター

解析は、Poolプロジェクト(APR 010が必要)、自動化プロジェクト(APR 050が必要)、標準化テストプロジェクト(APR 220が必要)、メトリックプロジェクト(APR 570が必要)で利用できます。

アプリケーション

- 時間構造の迅速な同定
- 特に低域での高周波数分解能による解析

再帰フィルター

1/nオクターブ解析に再帰フィルターを利用することで、信号の時間構造の高精度の解析ができます。特に低域では、1/nオクターブ解析は高周波数分解能が効果を発揮します。

バンドパスをアレンジしてフィルタリングすることによってサブバンドが得られます。

1/nオクターブスペクトル(フィルター) vs 時間

この解析では、入力信号の 1/n オクターブ スペクトル vs 時間を計算します。

1/nオクターブスペクトル(フィルター)

1/nオクターブスペクトル(フィルター)解析は、入力信号の1/nオクターブスペクトルを計算します。

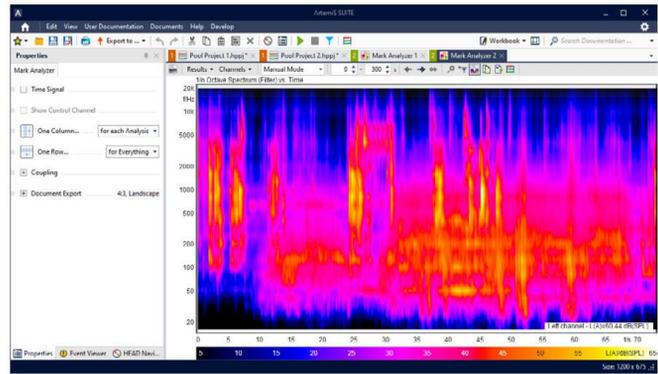
1/nオクターブスペクトル(フィルター)(ピークホールド)

この解析では、入力信号の 1/n オクターブ スペクトルを計算します。

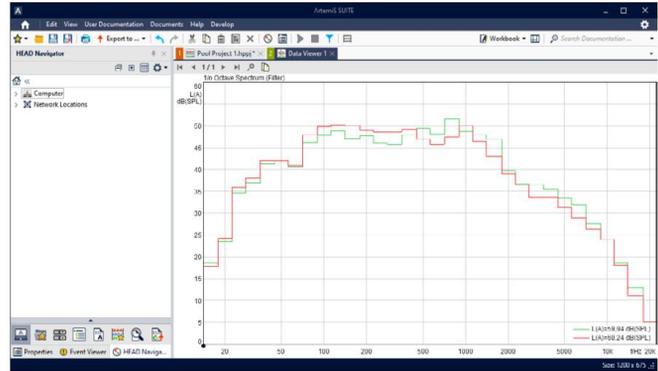
1/nオクターブスペクトラム(フィルター) vs RPM

この解析では、入力信号の 1/n オクターブ スペクトル vs 参照量を計算します。

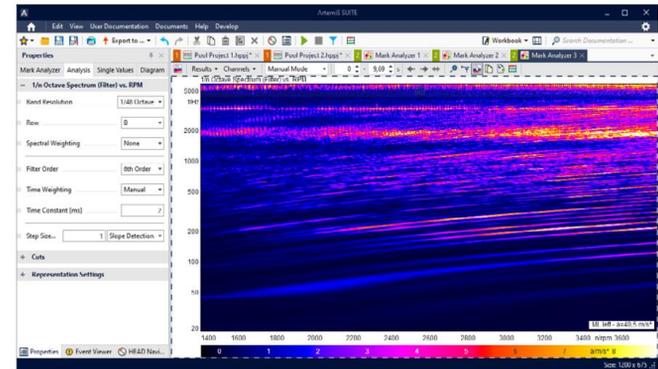
要件： APR Framework (Code 50000)
または HEAD System Integration & Extension
(ASX) プログラミングインターフェイス)



1/nオクターブスペクトル(フィルター) vs 時間



1/nオクターブスペクトル(フィルター)



1/nオクターブスペクトル(フィルター) vs RPM



お問い合わせ

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134
横浜ビジネスパークウエストタワー 8F

電話： 045-340-2236
Eメール： headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト： www.head-acoustics.com